

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

<秋元湖H 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○
H-2	○	○	○	—	○	—

<秋元湖H 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R3.12.1	09:05	09:21	7.6	7.3	軟泥	7.5Y5/3	植物片	12.0	3.0		
H-1 (下層)						7.1								
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:39	09:50	7.1	7.0	軟泥	7.5Y5/3	植物片	6.9	3.5		
H-2 (下層)						6.3								

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R3.12.1	09:05	7.4	0.5	3.0	10.1	5.5	0.03	1.2	2	1.5	N.D. (0.0014)	0.0087	—
H-1 (下層)					7.1	0.5	3.2	9.1	5.7	0.03	1.3	2	2.3	N.D. (0.0014)	0.0090	0.0018
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:39	7.3	<0.5	3.1	10.5	5.5	0.03	1.2	1	1.4	N.D. (0.0016)	0.015	—
H-2 (下層)					7.2	<0.5	2.9	10.5	5.5	0.03	1.2	1	1.6	N.D. (0.0013)	0.0067	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
H-1	37.6575°	140.1264°	R3.12.1	09:21	6.8	85	56.1	9.9	35.1	2.540	0.0	0.0	0.2	0.7	56.3	42.8	0.0066	2.0	83	2300	1.1
H-2	37.6616°	140.1226°		09:50	6.9	53	66.9	14.1	48.2	2.430	0.0	0.0	0.1	0.0	35.3	64.6	0.0023	2.0	60	2000	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	R3.12.1	節足動物	軟甲	エビ	サザガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	6	0.43	成体	—	—	13	N.D. (1.8)	13	—
					軟体動物	二枚貝	イシガイ	イシガイ	<i>Sinanodonta woodiana</i>	ドブガイ	2	0.61	成体	—	軟体部	2.2	N.D. (0.96)	2.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	10	2.4	成魚	不明消化物	内臓除去	38	N.D. (1.3)	38	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1.4	成魚	不明消化物	内臓除去	14	N.D. (1.3)	14	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	2	1.7	成魚	不明消化物	内臓除去	36.9	1.9	35	1.2
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	44	0.14	未成魚/成魚	—	—	5.5	N.D. (1.3)	5.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	4	0.29	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	14	N.D. (1.4)	14	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。